

2021 年 4 月 27 日

未承認新規医薬品・医療機器評価委員会承認された治療法

当院の未承認新規医薬品・医療機器評価委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	気道熱傷患者に対するヘパリン吸入
実施責任者	三重大学医学部附属病院 病院長 伊佐地 秀司
対象者	気道熱傷を来した患者
承認日	2021 年 4 月 27 日
対象期間	承認後、永続的に使用
概要	【目的・意義】気道熱傷は気道分泌物による粘液栓のために重症呼吸不全を来し死に至ることがある。ヘパリンの吸入は粘液栓を溶解し、粘液栓生成を抑制することで呼吸不全の改善が得られるが、投与経路が添付文書に記載されていない。 【想定される不利益と対策】ヘパリンは本来、抗凝固薬としての機能を持つため、抗凝固効果による出血傾向が出現する可能性がある。日々の血液検査や出血状態の確認などで十分な観察を行う。
お問い合わせ先	三重大学医学部附属病院 総務課 総務係 代表 059-232-1111（内線 6293）

以上